



日本の博物館のこれから II

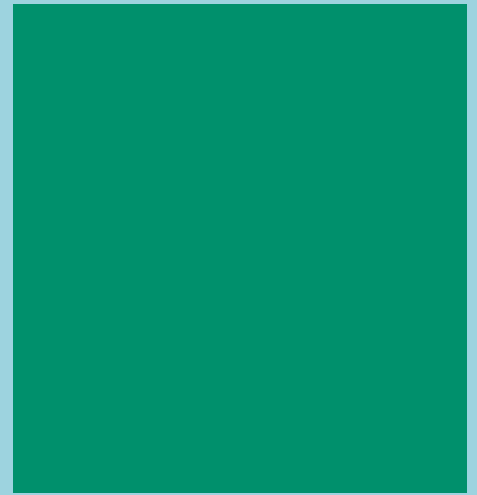
—博物館の在り方と博物館法を考える—

2018 ~ 2020 年度

日本学術振興会科学研究費助成事業研究成果報告書 (1)
基盤研究 (C) 課題番号 18K01115

2020 年 9 月

研究代表者 山西良平

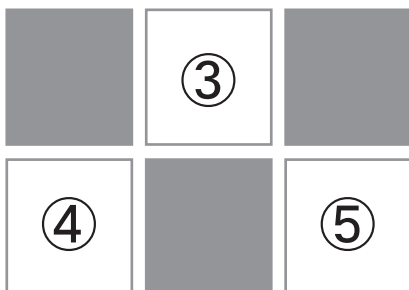




日本の博物館のこれからⅡ
—博物館の在り方と博物館法を考える—

2018～2020年度
日本学術振興会科学研究費助成事業研究成果報告書(1)
基礎研究(1) 課題番号18001115

2020年8月
研究代表者 山西良平



表紙写真解説

- ①川崎市市民ミュージアム被災収蔵品レスキュー活動
(2020年1月14日)
- ②社会福祉施設と発達障がいをもった児童のためのプログラムの様子
(2016年5月21日)
- ③多摩六都科学館
ちきゅうラボ「アンモナイトの化石をみてみよう」
(2020年1月)
- ④・⑤ICOM(国際博物館会議)京都大会2019
NATHIST(自然史の博物館・コレクション委員会)の
オフサイト・ミーティング
(大阪市立自然史博物館 2019年9月5日)

執筆者一覧（※研究代表者及び研究分担者をのぞき五十音順）

研究代表者

山西 良平 大阪市立自然史博物館外来研究員・西宮市貝類館顧問

研究分担者

佐久間大輔 大阪市立自然史博物館

佐々木秀彦 東京都歴史文化財団

島 絵里子 大阪市立自然史博物館外来研究員

高井 健司 大阪市博物館機構

高田 浩二 海と博物館研究所所長・福山大学客員教授

鷹野 光行 お茶の水女子大学 名誉教授

布谷 知夫 三重県総合博物館特別顧問

浜田 拓志 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター

浜田 弘明 桜美林大学

矢島 國雄 明治大学名誉教授

日本の博物館のこれからⅡ

－博物館の在り方と博物館法を考える－

2018～2020年度

日本学術振興会科学研究費助成事業研究成果報告書(1)

基盤研究(C) 課題番号 18K01115

研究代表者 山西良平

発行：2020年8月31日

編集：大阪市立自然史博物館 山西良平・佐久間大輔

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

印刷：株式会社 日章印刷所

目 次

はじめに	山西 良平・佐久間大輔	1
第一部 博物館の役割・機能と博物館法		
開かれた博物館へー各地の博物館での取り組みの現状と、今後に向けてー	島 絵里子	3
地域の文化遺産の保全に対する博物館の役割	浜田 拓志	19
博物館法のあるべき姿に向けて	鷹野 光行	29
近年の博物館行政と博物館の社会的役割・機能について	山西 良平	33
博物館施設群を全体として強化するために 登録制度によるスタンダード設定とネットワークによる機能強化	佐久間大輔	39
博物館としての動物園水族館の在り方	高田 浩二	49
第二部 行動規範・倫理と評価		
博物館関係者の倫理規程 国内外と類縁機関の現状	佐々木秀彦	59
博物館評価の現状と今後ー新たな制度の構築に向けてー	高井 健司	79
博物館評価を考えるための大学評価の事例	布谷 知夫	93
第三部 人材育成と学芸員制度		
学芸員制度の問題点	矢島 國雄	101
我が国における学芸員養成の現状と展望	浜田 弘明	107
博物館の基盤となる学芸員体制の維持と高度化を考える	佐久間大輔	117
多様なミュージアムプロフェッショナル育成のために	佐久間大輔	125